

全重協近畿ブロック会議8月例会オープンイベント

# プール学院大学学生支援センター&クロスジョブ連携事業 「キャンパスチャレンジ」

## クロスジョブグループ理念

希望と約束を大切に 日々の支援を振り返り高めあい  
障害のある方が、企業で働く未来に貢献します

特定非営利活動法人 クロスジョブ

代表 濱田 和秀



# NPO法人クロスジョブ & クロスジョブグループ紹介

## 2010年スタートから6年間のグループ実績

利用者総数 527人

就労退所者数269人(就労退所率51%)

継続就業者数214人(継続就業率80%)

開設予定クロスジョブ札幌2017/4/1

開設予定クロスジョブ米子2016/11/1

NPO法人クロスジョブ神戸

クロスジョブKOBE2012/4/1

クロスジョブKOBE II 2014/4/1

NPO法人  
クロスジョブ

クロスジョブ堺2010/4/1

クロスジョブ阿倍野2012/4/1

クロスジョブ梅田2014/1/1

クロスジョブ草津2015/4/1

開設予定クロスジョブ鳳2017/1/1

NPO法人わかくさ福祉会

クロスジョブ東京2014/4/1

# クロスジョブの事業コンセプト

1. 事業者責任と就職目的を明確にするため**就労移行支援事業のみを実施**
2. 利用者像は、就職を希望しつつも一人では難しく、かつ既存の福祉施設環境にはなじめない方々（一般校卒業、不登校、引きこもり）
3. 事業所は、オフィスビルに構え、会社に近い環境でビジネスマナーや働くルールを学ぶ
4. 事業所は、ハローワーク徒歩圏内に構え、求職活動意欲と求人への即応力を高める【週1回はハローワークへ】
5. 作業中心でなく、アセスメント《評価（自己評価）》とジョブマッチングをベースにした支援
6. 個別面談とグループワークを実施し自己コントロール力を高める
7. 企業と連携した職場体験実習を実施
8. 企業経験者をスタッフに配置し企業支援
9. 同じスタッフが、利用開始から就職後の定着支援までサポート



# クロスジョブ支援 「相談と訓練の一体的支援」

経験と気づき

毎日の振り返り  
個別支援計画の振り返り、作成  
緊急な相談対応

企業の障害者雇用経験者  
を含む多様な人材でチーム  
支援



地域のネット  
ワークで

## アセスメント&エンパワメント&ジョブマッチング

会社に近い環境で、  
不安やできないこと  
苦手なこと、ストレス  
を共有・整理

3~6ヶ月

準備訓練とグループワークで  
働くルール・マナーの習得

会社ではどうだろう？自分の課題  
に気づき、向き合  
う

3~6ヶ月

企業体験実習

働くための課題  
にチャレンジ  
適職選定

3~6ヶ月

雇用前実習  
採用面接同行

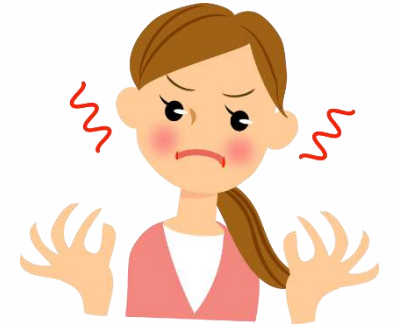
目標は、働き続  
けること

ジョブコーチ支援  
就業生活支援センターとの連携

新しいチャレン  
ジ！安心して  
失敗できる場  
所

利用開始から就職までの平均利用期間12.8カ月。

## 訓練の中で見える発達障害のある方の課題・・・



- 自己の特性理解が不十分。
- 見た目には障害が分からず、能力以上のことを求められることが多い。  
本人も背伸びをしている。
- 失敗経験、叱責経験が多く、自信喪失・ネガティブ思考。  
しんどいこと、不安なこと、心配なことがあると、体調不良を訴える人が多い。
- 聴覚などの刺激過敏、高いストレス
- 見通しを立てることが苦手
- 失敗やルール違反を許せない、字義通り受け止める
- うまく思いを表現・整理できない苦しさ。
- 予期不安が大きく、新しいことへの第一歩が出にくい。
- 頼れる存在がおらず、こころ安らぐ居場所がない。孤独感が強い。孤立している。



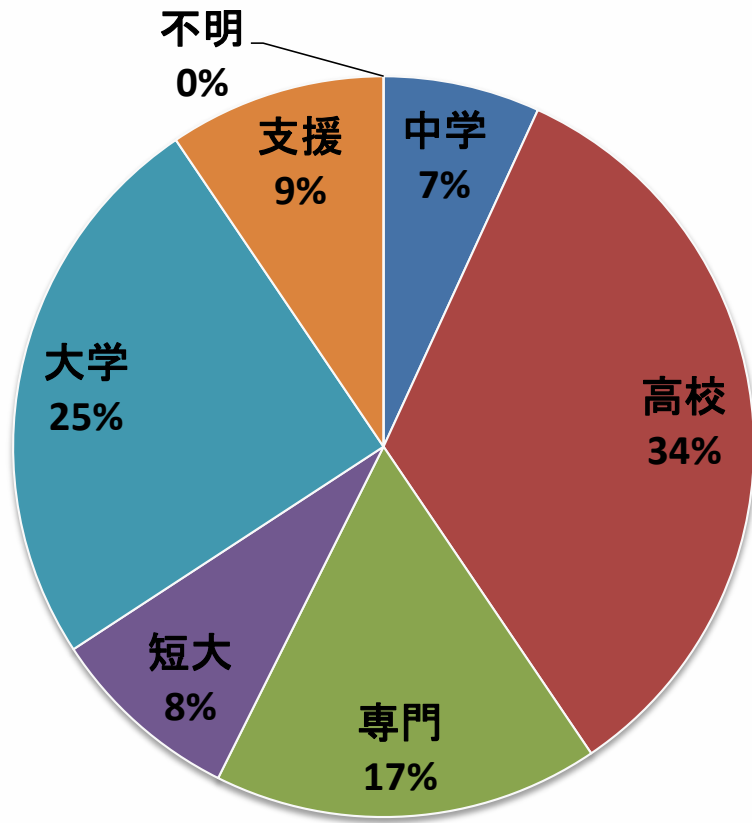
具体的経験場面を通して、不安やもやもや感を整理していくことで自己コントロール力を高めていく



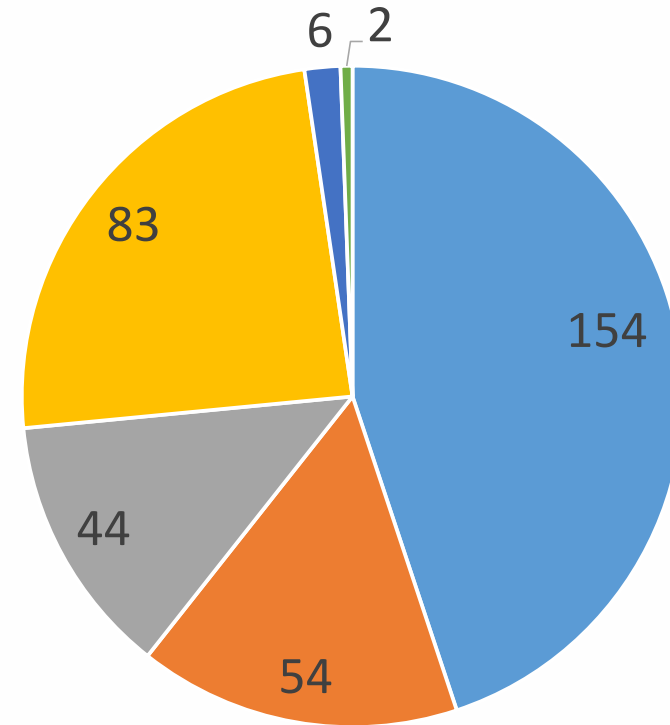
# 発達障害のある方へのクロスジョブのアセスメント

- 発達障害は、認知の障害(ずれ)
- 人によっては、対人関係の躓きから二次障害を伴っている場合がある
- 自分の不安、悩み、ストレスを話してもらい関係作りからスタートし、人と繋がる力、ストレス耐性を見極めから自己コントロール力を養う
- 会社に行く前に、会社と同じ環境で、仕事に必要なルールやマナーを学び体験し、本人に理解のずれやこだわりに気づいてもらう
- 就職に向けた課題、見通しを大切にしてい
- 障害特性、配慮事項を整理し、強みを生かせる職種、職場環境へ
- 支援者に必要なことは、説諭でなく、共感と就職への見通しを示すこと

# 最終學歷内訳



# 障害別内訳



- 発達障害
- 精神障害
- 身体障害
- 高次脳機能障害
- 知的障害
- 難病

# キャンパスチャレンジ事業はなぜ始まったか

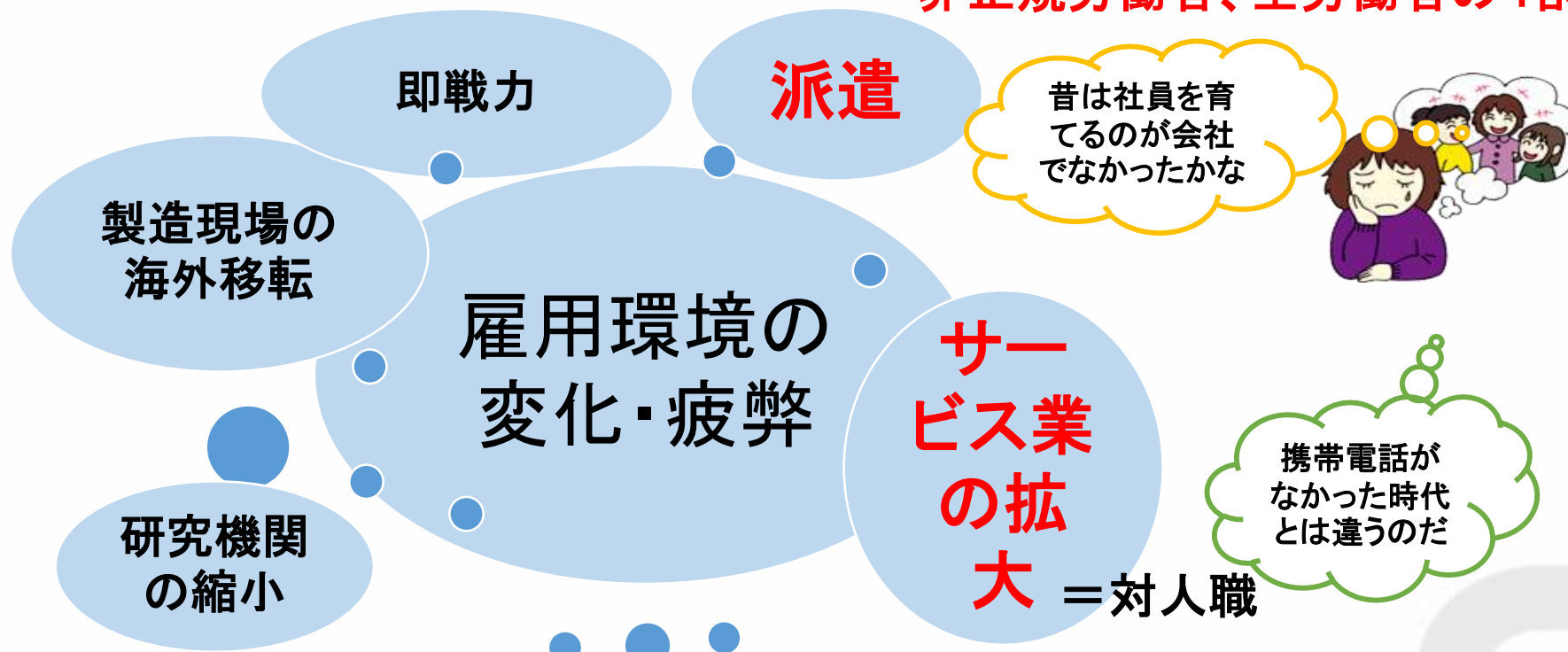
- きっかけは、プール学院大学卒業者の就労移行支援事業利用
- 卒業生の就職により学内におけるプレゼン開始
  - ……（詳細は、学生支援センターより）
- 就労移行支援は18歳より利用できるが、障害者手帳か診断が必要
- 学業と就労移行の並行利用で卒業と同時に就職をめざす
- そのために必要な準備と支援は
  - ↳ 1・2年生のうちに就労移行支援を利用できる準備を
  - ↳ 就労移行支援のストレスを学生支援センターに相談、情報共有
- これまで、4人が利用され、1人が就職、3人が利用中。
  - ↳ 現在の支援プログラムをどうリニューアルしていくか試行中。



雇用環境の変化が、働く・働き続ける障害(社会的障壁)に。

大卒新入社員の3人に1人が3年以内に離職

非正規労働者、全労働者の4割



情報処理技術の急激な進化

正確な情報共有が、即仕事の結果に！

# 働くためには、誰でも、人とつながる力が求められる

- 人とつながるには、折り合いをつけることができる力が必要
- 折り合いをつけるには、自己肯定感を育てなければできない
- 自己肯定感の育成には、経験と共感と受容が必要
- 経験は、自己選択によるもの
- 経験は、「失敗」も含めて成功体験に修練していく



# 企業が求めるのは戦力となる人材

戦力になるには、働き続けること、そのためには……

- ① 得意分野で仕事ができること
- ② ストレス原因を知り、対処できること
- ③ 相談できる力が育っていること

どこが障害  
ですか？



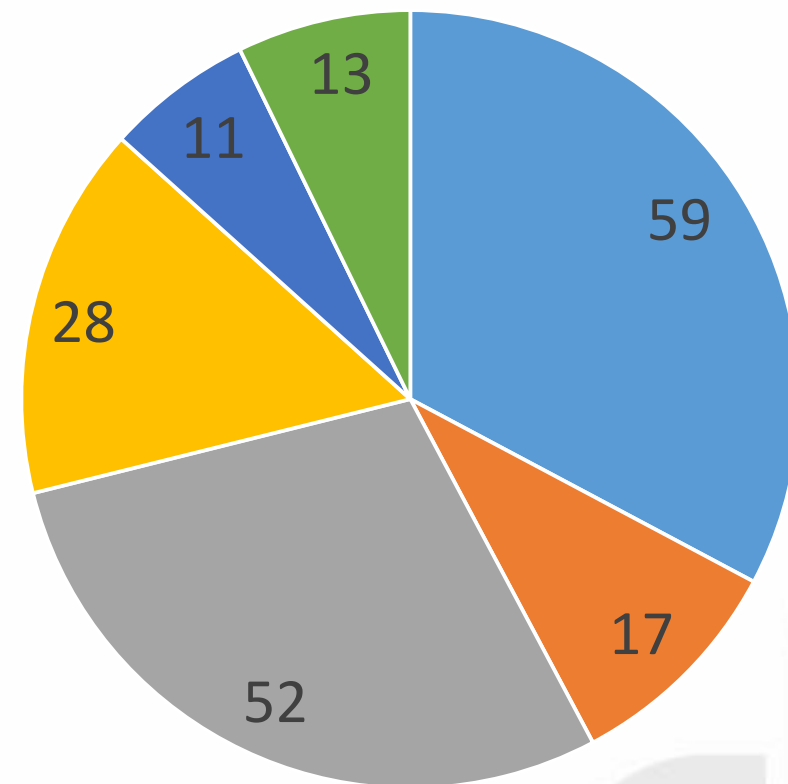
## 2015年度末時点の就労退所者の就労定着状況

(%は 就労退所者 人/定員20人)

事業所名	就労退所後の定着期間		
	6カ月以上	1年以上	2年以上
クロスジョブ堺	15人 (75%)	13人 (65%)	17人 (85%)
クロスジョブ阿倍野	15人 (75%)	17人 (85%)	18人 (90%)
クロスジョブ梅田	15人 (75%)	8人 (40%)	

開所から昨年度末時点までの利用契約者総数は、339人  
 // 就労退所者数は、182人  
 // 中途退所者数は、69人  
 2016年度への利用継続者数は、88人  
 ☞以上から、就職を希望し続けた方全員が、就職！

## 就職職種別一覧



■ 事務系      ■ 製造加工      ■ 軽作業  
 ■ サービス業   ■ 調理補助      ■ 清掃





# NPO法人クロスジョブ CROSSJOB

お問い合わせ

- 代表挨拶
- 組織概要
- クロスジョブ規則
- 高次脳機能障害
- 発達障害
- 就労移行支援
- ジョブコーチ
- ご利用の流れ
- 訓練内容
- ベストマッチサポート
- 施設紹介
- 講習会と書籍

障害のある方×企業の架け橋に



「クロスジョブ神戸利用者虐待認定声明」について  
クロスジョブ グループ見解

- クロスジョブ直営施設** 各施設やスタッフの紹介等はこちらから
- 

就労移行支援事業所  
クロスジョブ 堺

もっと詳しく
  - 

就労移行支援事業所  
クロスジョブ 阿倍野

もっと詳しく
  - 

就労移行支援事業所  
クロスジョブ 梅田

もっと詳しく
  - 

就労移行支援事業所  
クロスジョブ 草津

もっと詳しく

- 会員募集**

私たちと一緒に活動しませんか?


- ジョブコーチ支援 発信中**

ジョブコーチ(第一号臨床発達助成者)による支援活動のご報告です。
- クロスジョブグループ

  - クロスジョブ 神戸
  - クロスジョブ 東京
- 就職しました!**


- あなたの投稿箱**


- 高次脳機能障害  
就労支援コーナー

